

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学リハビリテーション医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報と研究データベースの利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2022年 12月

福島県立医科大学医学部リハビリテーション医学講座 大井直往

■ 研究課題名

術後急性痛に影響を与える術前心理的要因の性差について-腰椎疾患患者を対象とした検討-

■ 研究期間

2022年12月 ～ 2023年6月

■ 研究の目的・意義

痛みには大きく分けて急性痛と慢性痛が存在します。急性痛は外傷や病気など原因が明らかであり、危険を伝えるアラーム信号のような役割を担っています。一方、慢性痛は急性疾患の通常の経過あるいは創傷の治癒に要する妥当な時間を超えて(3ヶ月から6ヶ月以上)持続する痛みと定義されており、急性痛とは異なり、必要のない痛みと言えます。

慢性痛罹患者数と医療費総額は世界各国で増加傾向です。慢性痛の中でも、腰痛や膝痛など筋骨格系の障害に起因する痛みが特に多いです。日本人成人の生涯腰痛有病率は83.4%と高率であり、先進国や発展途上国にある18-65歳の男女26,000人を対象にした調査でも慢性疼痛保有率は22.0%、欧州の18歳以上の男女46,394人を対象にした調査では、慢性疼痛保有率は19.0%であったと報告されています。病院受診に伴う費用は年間平均180万円を超え、社会生産性も1.2兆円の損失があると言われており、今後更なる医療保険の負担増悪が懸念されています。また、慢性痛は日常生活動作や生活の質(生きがい)の低下に深く関与しており、慢性痛の原因解明や予防策、治療法の確立は急務であると言えます。

慢性痛の発生原因の1つに「急性痛が慢性痛へ移行する」ということがあります。術後慢性痛は病態の詳細な機序が明らかとなっておらず、予防治療によるエビデンスはまだ構築されていませんが、細胞や神経の過剰な興奮などによる影響が強いと考えられています。痛みの慢性化は創傷後3ヶ月経って急に生じるのではなく、損傷直後の細胞や神経の反応による影響が強いとされているため、痛みの持続に伴う脳実質の組織学的変化が生じ、結果として慢性痛へ転化してしまうとされています。そのため術後急性痛の管理が非常に重要であると言えます。

しかし、メカニズムは分かっても実際には術後急性痛の慢性化を回避することが出来ていないのが現実です。術後急性痛に影響を与える術前因子を検討した先行研究によると抑うつや不安感などの精神心理的要因が報告されています。一方で痛みには性差が強く関与しており、術後急性痛における術前因子の1つでもあります。

我々は慢性痛が最も多い腰椎疾患に注目し、腰椎術後における男女間において、術後急性痛

に影響を与える術前因子が異なるのではないかという仮説を立てました。しかし、腰椎疾患のみに注目し、男女別の術前要因を検討した報告は行われていませんでした。そのため、本研究では腰椎疾患術後の患者さんを対象に術後急性痛に影響を与える性差別の術前心理的要因を検討していくこととしました。

■ 研究対象となる方

2018年10月から2022年11月までに当院整形外科にて腰椎手術を施行された患者さんで、痛みに関するアンケート調査に回答いただいた患者さんとなります。

■ 研究の方法

対象となる方の基本情報(年齢/身長体重/手術内容/投薬状況など)を診療情報から確認致します。また入院時にご回答いただいたアンケート結果をデータベースから収集致します。

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学リハビリテーション医学講座、福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンターであり、研究責任者は福島県立医科大学リハビリテーション医学講座の大井直往です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長の竹之下誠一です。以下の研究者で研究を行います。

| | | |
|-------|--------------------|-------------|
| 研究責任者 | (所属) リハビリテーション医学講座 | (氏名) 大井 直往 |
| 研究主任 | (所属) リハビリテーションセンター | (氏名) 渡辺 祐樹 |
| 研究分担者 | (所属) 保健科学部 | (氏名) 矢吹 省司 |
| | (所属) 整形外科学講座 | (氏名) 二階堂 琢也 |
| | (所属) リハビリテーション医学講座 | (氏名) 佐藤 真理 |
| | (所属) リハビリテーションセンター | (氏名) 小野 洋子 |
| | (所属) リハビリテーションセンター | (氏名) 鈴木 秀基 |
| | (所属) リハビリテーションセンター | (氏名) 飯沼 香織 |
| | (所属) リハビリテーションセンター | (氏名) 吉田 理衣 |
| | (所属) リハビリテーションセンター | (氏名) 長峯 沙紀子 |
| | (所属) リハビリテーションセンター | (氏名) 阿部 純平 |
| | (所属) リハビリテーションセンター | (氏名) 小林 寛崇 |
| | (所属) リハビリテーションセンター | (氏名) 宍戸 啓太 |

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター 担当：渡辺祐樹

電話：024-547-1588 FAX：024-547-1588

e-mail：cervello@fmu.ac.jp

